

# 留 学 報 告 書

記入日: 2014 年 2 月 6 日



所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部国際日本学科		
留学先国	アメリカ合衆国		
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ハワイ大学ヒロ校 現地言語: University of Hawaii at Hilo		
留学期間	2013 年 8 月～2014 年 1 月		
留学した時の学年	3 年生(渡航した時の学年)		
留学先での学年	3 年生(留学先大学で在籍した学年)		
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。		
帰国年月日	2013 年 1 月 5 日		
明治大学卒業予定年	2015 年 3 月		
<b>留 学 先 大 学 に つ い て</b>			
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他		
学年暦	1 学期: 8 月中旬～12 月下旬 2 学期: 1 月上旬～5 月上旬		
学生数			
創立年	1986 年		
特徴	田舎。雨が多い。穏やかな気候。		
留学費用項目	現地通貨(ドル)	円	備考
授業料		100万円	
宿舍費		30万円	
食費		10万円	
図書費		5万円	
学用品費		円	
教養娯楽費		5万円	
被服費		5,000円	
医療費		円	
保険費		5万円	形態:
渡航旅費		25万円	
雑費		円	
合計		1,585,000 円	

## 渡航関連

渡航経路: ホノルル

渡航費用

チケットの種類 往復航空券

往路 \_\_\_\_\_

復路 \_\_\_\_\_

合計 25 万円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

ANA

取得したビザについて教えてください。

ビザの種類: F-1

ビザ取得方法: アメリカ大使館

その他渡航やビザ取得に関してアドバイスがあれば教えてください。

並ぶから早めに行った方がいい。

## 滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)

アパート

2) 部屋の形態

個室 OR  相部屋(同居人数1)

3) 住居を探した方法:

SAF を通して。

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

ルームメイトがいる場合は最初はストレスを感じるかもしれないが、慣れれば平気。割とすぐ慣れる。  
私の場合はルームメイトの実家が車で3時間のところにあつたので隔週で規制していたのでたまに一人の時間をとることができた。

## 現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会がなかった

利用した:

2) 学内外で問題があつたときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

特に問題はなかった。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

友人から話を聞いた。犯罪には巻き込まれなかった。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であつたので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

アパート内でも、学校でも Wi-Fi 接続を使った。接続は良かったと思う。

5) 現地での資金調達はどうに行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらつた。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードとキャッシュカードの併用。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

特になし。何でも手に入る。

## 進路について

## 1) 進路

就職    進学    未定    その他:

## 2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。  
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

就職サイトへの登録。パソコン上でできる就職活動もたくさんある。あと、筆記対策も早めに越したことはない。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
16 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Hawaiian Ohana	ハワイアンオハナ
科目設置学部・研究科	Hawaiian studies
履修期間	fall term
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	
授業内容	ハワイの文化や歴史を学ぶ。
試験・課題など	中間テストが二回と期末テスト。毎回リーディングの宿題があった。 グループワークがかなり多かった。
感想を自由記入	想像していたのは違ったが、ハワイの文化を学べて面白かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Elementary Chinese	初級中国語
科目設置学部・研究科	
履修期間	fall term
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	少人数講義
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	Feng
授業内容	中国語の学習。
試験・課題など	チャプターが終わるごとに小テストがあった。プラス中間テストと期末。 最後にプレゼンテーションもあった。毎回、ライティングとリスニングの課題があったが、 ライティングは日本人にとってはかなり簡単。
感想を自由記入	ほとんど負担にはならなかった。アジアに興味がある人が多かったので、この授業でかなり友達ができた。発言も非常にやすかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Jazz Dance		ジャズダンス	
科目設置学部・研究科	Dance		
履修期間	fall term		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	実践形式		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	K Kapuhua		
授業内容	ジャズダンスの基礎。		
試験・課題など	ジャズについての単語テストが二回。 毎回コメントをA4一枚で提出。final paperはGMOについて。		
感想を自由記入	友達ができたし、何より楽しかった。いい気分転換になった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Public speaking		パブリックスピーキング	
科目設置学部・研究科	communication		
履修期間	fall term		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	半分講義半分プレゼン		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	C Osterwalder		
授業内容	毎回プレゼンやスピーチの効果的なやり方を学び、それを実践した。		
試験・課題など	テストは期末に一回。そんなに難しいものではない。 それよりも毎回プレゼンやスピーチをする方が大変だった。		
感想を自由記入	留学生は私だけだったのでネイティブの前でかなりの英語を話せたのは大きな成果だった。最後には自信を持って話せるようになった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Linguistics		言語学	
科目設置学部・研究科	Linguistics		
履修期間	fall term		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義		
授業時間数	1週間に50分が3回		
担当教授	A Kiyuna		
授業内容	言語学の基礎。		
試験・課題など	チャプターマイに小テスト、それに加えて中間テストと期末テスト。 最後にプレゼンテーション。		
感想を自由記入	専門用語が多かったが、内容自体はそんなに難しいものではない。		

留学に関するタイムチャート
---------------

留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。  
(形式は箇条書きなど簡単なもので構いません)

2013年 1月～3月	TOEFL の対策を引き続き行った。
4月～7月	海外ドラマを字幕なしで見るようにした。 授業履修も半分くらいは英語で取っていた。
8月～9月	時差で体調が良くない日が続いた。 授業が始まると、友達もできてきて楽しく始める。 最初は食も合わないし、一人部屋がなかったのでストレスを感じたが、慣れれば平気。
10月～12月	mid term、final term の期間に入るとテストや課題、プレゼンが続き、忙しかった。学生たち皆、図書館で集中して勉強しているので、かなり刺激を受ける。
2014年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	英語を話せるようになりたかったからです。また海外旅行を経て、もっと異文化を知りたいと思うようになりました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	語学力は日本にいても上げられます。私は、“Cool Japan”など、英語で日本を紹介するテレビ番組を録画して観ていました。あと、海外ドラマ“Friends”は面白いし、日常使える表現もたくさんあるのでおすすめです。
この留学先を選んだ理由	言語学が有名だったことです。ゼミでも言語学を研究しているので、それを英語で学びたいという思いがありました。また、穏やかな環境に身を置いてみたかったからです。東京でせわしなく生きていたので、穏やかな気候で育った穏やかな人々に興味がありました。それから、喘息持ちなので、空気が良いということも大きな理由です。
大学・学生の雰囲気	皆気さくです。
寮の雰囲気	寮ではありませんでした。
交友関係	アジアからの留学生(特に韓国人)は友達になりやすかったです。現地の学生と友達になるのは大変でしたが、中国語を履修しているアメリカ人とはかなり仲良くなって、ほぼ毎日一緒にいました。個人的には女の子より男の子と一緒にいるほうが楽で、多かったです。
学習内容・勉強について	言語学や中国語など、語学系を中心に履修していました。最初は授業のスピードについて行けず大変でしたが、先生もかなり面倒見が良く、特に留学生には授業後も親身になって指導してくださいました。やる気があれば、教授にもその思いが必ず伝わります。
課題・試験について	課題の量は多かったです。でも周りもみんな頑張っているし、アルバイトもなかったので勉強には集中できました。
大学外の活動について	バドミントンクラブに入り活動していました。その他にもマウナケア山で観光ボランティアをしたり、ジャパンプラブの活動に参加して現地の小学校を回ったり、かなり充実した日々でした。
ある平日のスケジュール	6時:起床 6-7時:勉強 8時-11時:授業 11時-12時:昼食 12時-14時:授業 16時-23時:観光ボランティア
ある休日のスケジュール	7時:起床 8時-20時:グリーンサンドビーチ 22時:就寝 (休日はビーチや海にいたることが多かったです。)
留学を志す人へ	留学に行ったから自動的に英語が話せるようになるわけでもないし、留学生だからといって周りが話しかけてくれることはありません。